



松本 美子 議員

職員が男女平等
だといえ。

問 30年度採用職員と現状を聞く。

答 参事兼総務課長 一般職男性2人、女性1人と専門的技術職は土木2人、保健師1人及び臨床心理士1人の採用。現状は育児休業2人、派遣等合せて144人でうち男性94人、女性50人である。課長は全員男性、副課長7人女性の15・2%である。

試行的での実施はいつまでか

問 交通弱者対応のデマンド事業の来年度への方向は。

新職員採用と女性管理職は

答 任命、希望、試験等で決定する

問 長寿生きがい課長 23年度より事業開始、25年度制度の見直し、29年度助成方法を見直して初乗り運賃分の助成から運賃に応じ

た助成へ変更した。新年度も現制度で試行的に実施。
事業費補助金団体の現状は



職員数が足りているのかな？

問 補助金団体の各課の見直しと方向は。

答 参事兼総務課長 事業費補助金団体は38団体あり、事業費補助金交付要綱に基づき交付する。前年度活動実績及び新年度活動計画等の確認・検討のうえ補助金適正化委員会に再度確認のうえ各団体への補助金とする。

予防事業の新たな方向は

問 高齢者の新たな予防事業は。

答 長寿生きがい課長 一般介護予防事業で「ふらっと嵐トレ」の実施、住民が主体となる筋力アップ体操である。

農業者所得の倍増を

問 6次産業の現状は。

答 環境農政課長 小麦農林61号の生産、販売に向けまんじゅうめんこ61事業、ブルーベリー、のらぼう菜等に取り組んでいる。

問 農業者対策として就農用住宅整備を。

答 環境農政課長 28年度新規就農者3人が住居を構えている。

問 読書環境の人材育成や推進計画は。

答 教育総務課長 各学校に司書教諭が5校で9人配置。29年度中推進計画を策定する。



渋谷登美子 議員

子どもの数は少なく
なっても、子どもは
3歳になるのだけ。

問 保育園、幼稚園に就園しない3歳児の対応は。

答 教育総務課長 本年幼稚園入園希望は35名。町立幼稚園で就園しない3歳児に月2回、年20回さくら教室を開き、4歳の就園がスムーズになるようにつなげている。

問 先日子ども子育て会議を傍聴した。関係者は嵐山町では3歳児の行き場がない。3歳児の行き場がないので、保育園を希望する。そのために1・2歳の保育園希望が多くなる。

3歳児保育、町長方針の変更を

答 少子化で維持管理費を安くするため理解を

3歳児の教育を何とかしてほしい。ということだ。町立幼稚園は4・5歳児各2クラスで定員100名。来年度は28名程度の定員割れがある。現施設の現状では3・4・5歳の縦割り保育は可能。町長の方針の変更は。

山町は幼稚園・保育園の経営が持続するための維持管理で考えていく。ご理解を。

問 町長は町の運営をどう考えるのか。

答 教育総務課長 町立幼稚園でのさくら教室で対応する。

問 町外は私立幼稚園に行く場合、町外に転居することもある。現状で行く場のない3歳児をどうするのか。

答 教育総務課長 町立幼稚園でのさくら教室で対応する。



月2回、年20回 町立幼稚園 さくら教室 (12月11日クリスマス会の準備)、毎日通園したいね